

変えよう！
ニッポンの
家づくり

新建

ハウジング

▲THE SHINKEN HOUSING

2018.1.10

Vol.782

発行：新建新聞社
毎月10・20・30日発行 1995年3月31日創刊
1995年6月30日第3種郵便物認可

3面	業界のうごき／展示場	徳島で地域工務店7社が高性能な木の家PR
6・7面	2018年度予算案／重点施策	断熱リノベ補助や空き家総合支援など
9面	市場・データ／11月住宅着工	持家は前年比4.2%減で6カ月連続減少
19面	ニュース／パッシブデザイン	「土間」とり入れ快適な室内環境を創出
20面	大工育成／社員化	JBNが年間1000人新規雇用のプロジェクト

★モデルチェンジ★

NEW LFB-400DC-V

排気型集中換気システム

ルフロ®400

※実際の商品とイメージが異なる場合があります。

今度のルフロは
お風呂も吸える!!

浴室換気も可能 &
メンテナンスも簡単に!

日本住環境株式会社

100年後も空き家にならない街づくり

年収400万でも豊かな生活「里山住宅博つくば」で提案

秋葉原駅から約50分、つくばエクスプレス沿線最後のタウンプロジェクトと言われる茨城県つくば市中根・金田台エリアで、木の家づくりを手掛ける工務店による期間限定の展示場「里山住宅博 in TSUKUBA」が計画されている。

同住宅博の事務局を担う茨城県産材普及促進協議会会長の中村公子さんは「地域工務店と造園の専門家、建築家、地産不動産会社、当地議会が連携を



できるのが大きな特徴だ。今回は、全体の敷地として面積3.2haをU R都市機構から買い取り、75区画を造成。そのうち34区画分を里山住宅博に充てる。

1区画約200㎡～292㎡の土地販売価格は約1000万～1300万円。1区画平均38㎡の里山を共有地(コモン)として宅地と一体的に提供する予定だ。2月2日の締め切りで、昨年12月6日から工務店の参加申込を受け付けている。参加費は税別200万円で、住宅博全

徳島で高性能な木の家づくりをPR

工務店有志と住宅供給公社が連携

徳島県木造住宅協会(会長:武市英博・城工務店社長)に所属する有志7社が、県住宅供給公社と連携して木の家づくりをPRする「7つの家ものがたり展示場」を2018年3月末から期間限定で開設する。一般的な住宅よりも構造的な性能を高め、地場の工務店の技術力を知ってもらう機会にするプロジェクト。オープンに先立ち、2017年12月16・17日の2日間、今回のプロジェクトの特徴のひとつである

構造躯体を見てもらうことができる構造見学会を開催。2日間で約20組が来場した。武市会長は「7社で協力して強い木の家づくりをPRしていきたい」と意気込む。

参加するのは協会員工務店のうち、プロジェクトの開催地である阿南市を商圏にできる県中央・南部の伊川工務店(小松島市)、樹(松茂町)、かみくぼ住宅(石井町)、島出建築事務所(徳島市)、城工務店(徳島市)、松浦建設



工務店有志メンバーの代表らと公社のスタッフ。写真の後列右から2番目が武市会長

(阿南市)、まもる建設(阿南市)の7社。「会場」は公社が開発した分譲地「パストラルゆたか野」で、現在約50区画を販売している。7社はこのうちの7区画にそれぞれモデルハウスを建設。2018年3月末から1年間、木の家づくりをPRしていく。その後は販売などする予定だ。

7社のモデルハウスはすべて長期優良住宅で耐震等級3相当を満たしたうえに、制震装置を採用するなど同一の構造性能を満たした家づくりを標準提案する。

共同のフェイスブックページやイン

スタグラムページを開設して告知活動をするほか、それぞれのホームページなどでも告知を行い、連携して集客する。来場者には分譲地のなかにあるセンターハウスで各社の資料を渡し、住宅の検討状況などに関するアンケートに回答してもらう。来場者のアンケート情報は原則、7社で共有する(商談中の会社の記載がある場合は、その会社を優先する)。

3月末の展示場オープンに向け、7社は共同の家づくり勉強会など、工務店による木の家づくりの醍醐味を広く伝えていく方法を検討している。



プロジェクトのためにのぼりも制作した



7社のモデルハウスが並んで建つ。長期優良・耐震等級3・制震ダンパー採用と構造的な性能を統一した